



# 緑肥・緑化の部屋 14

～環境保全の実践を目指して～

タキイ種苗(株) 営業部 緑化飼料課

## Q 第19回タキイ芝草フィールドデー(7月28日滋賀県湖南市)において、グリーンキーパーや造園業の方に注目された品種はどういったものでしたか?

**A** 当日は北海道から福岡県まで、ゴルフ場や競技場のキーパー、造園業者様など85社171名の方にご来場いただきました。気候温暖化で夏季の芝草メンテナンスは、関係者共通に頭を悩ますところですが、そんな中暑さに強いベントグラス「クリスタル」が注目されました。また、全国的な校庭緑化拡大に対応し、ティフトン芝に匹敵する芝質で、タネから造成できる手軽な「リビエラ」などの評価が高まりました。

### 1 夏季のグリーンにベントグラス「クリスタル」

夏の高温・長期化傾向で、ゴルフ場の顔であるグリーンに使用されるベントグラスにとっては、過酷な状況が続いています。当日は広島中央GCコースマネージャーの椎木建先生をお招きし、「寒地型芝草の管理方法」をテーマに講演いただきました。椎木先生からは、高温に弱いベントグラスの生理を解説いただいた後、梅雨から夏季へのグリーン管理の問題として、①茎葉の代替わりによるサッチ層の増大(停滞水の増加で軟化)、②床土の温度上昇による根の機能低下(貯蔵養分の枯渇)、③日照不足と過剰水分によるチッソの過剰吸収(徒長)、④グリーン表面温度の上昇による高温ストレス(表層焼け)、などを指摘。解決策として、シリジングの重要性や微量要素など夏季の施肥方法と合わせて、ニューベント(耐暑性品種)への草種転換を推奨されました。新品種「クリスタル」は真夏でも芝質がよく、葉色も濃い、夏の高温をクリアできる品種として、大きな期待を集めていました。

### 2 日陰はセンチピードグラス「ティフ・ブレア」やトールフェスク「スパイダーLS」

さらに講演では、もっと利用したい芝草として、日陰に強く明るい林帯などに利用できるセンチピードグラス「ティフ・ブレア」が紹介されました。芝草展示園場では、芝草の育ちにくい環境で生育できるかどうかを試験するため「耐陰性試験区」を設置しました。「ティフ・ブレア」は、密な

被覆と旺盛なほふく茎、アレロパシー効果による雑草抑制効果の高い芝草です。日なたのものに比べ葉色や密度はやや劣りますが、他の試験品種に比べ十分に利用できるレベルで生育しており、樹木の下、塀際や建物の陰などでの利用が期待されます。

また、トールフェスクの「スパイダーLS」は、株分かれが多く密なターフに仕上がるとして、日当たりの悪いティーグラウンドのオーバーシードやビルのテラスガーデンの緑化に向いていると紹介いただきました。

### 3 校庭緑化には、タネからの造成でコストを抑えたバミューダグラス「リビエラ」

園場で他に注目を集めた品種は、バミューダグラスの「リビエラ」です。近年、校庭緑化が注目されていますが、サッカー競技場などではティフトン芝を使っているのが主流です。しかし、ティフトン芝にはタネがなく、張芝やほぐし芝での流通でした。また、施工には専門技術が必要で補修にも芝生を張り替えるしかなく、大掛かりな作業となって子どもたちの遊ぶ校庭への導入には不向きでした。その点「リビエラ」ならティフトンに匹敵する芝質のうえ、タネから造成ができて手軽です。また、ティフトン芝の追いまき用としても利用できます。



↑芝草展示園場では、17草種約210品種の展示が行われ、播種後1年目と2年目の芝草を中心に病気や暑さに対する強さ、葉の色やキメ細かさなどを見ていただいた。



↑園場では播種後1年目、2年目の品種に加え、5年目となる区も設置し、暑さ、病気に強く、年間を通して高い密度と芝質を維持できる品種かどうかを判断いただいた。

※シリジング…ごく軽い地表面を濡らさない程度に行う霧状の灌水。